



安禅不必須山水
滅却心頭火自涼

信玄館

やかた



武田信玄公菩提寺
乾徳山「恵林寺」西参道入口

甲斐旅のお土産、お食事に



西沢渓谷
お車で約30分



放光寺 (あじさいなど花の季節がおすすめ)
徒歩で約10分



武田神社 (武田家居城跡)
お車で約40分



昇仙峡 (奇岩巨石の渓谷美)
興寄駐車場まで
お車で約60分



河口湖
お車で約50分



信玄館・恵林寺



慈雲寺 (しだれ桜が有名)
お車で約10分



勝沼ぶどうの丘
お車で約20分



駐車場まで
お車で約40分



雲峰寺
お車で約20分

信玄館から甲州各地の
観光スポットまでのご案内



★ぶどう・桃・すもも・サクランボ・いちごなどフルーツ狩りにもご利用下さいませ。



- お食事/ご予約席 2Fテーブル席450名様 3F和室192名様 1Fレストラン(48名様)
※当館の「ほうとう」は自慢の自社製麺です。
※多人数の場合は事前に状況をお電話にてご確認ください。
- お土産/自家製菓子(甲斐福餅、信玄十穀屋菓子)、自家製ほうとう、県内銘菓・名産品、県内産ワイン各種、水晶・宝飾品・工芸品・土産雑貨
- 駐車場/大型バス30台、乗用車約50台(無料)(お手洗い完備)
- ◆お車で/勝沼インター〜宮インターから約25分
塩山駅から約7分、石和温泉から約20分
河口湖から約50分

信玄館 恵林寺西参道入口徒歩1分
山梨県甲州市塩山小屋敷2311-1 〒404-0053
TEL0553-33-3555(代) FAX0553-33-2711
shingenyakata@cotton.ocn.ne.jp
http://www.shingenyakata.com

信玄館オリジナルお食事メニュー

信玄館の「ほうとう」は自家製生麺を使用しております。
山梨の旅の思い出に、四季折々のお料理を心ゆくまでお楽しみ下さい。

信玄館は「信玄ほうとう」の総本家。

甲州の風土が育んだ滋味あふれる味をぜひ堪能下さい。
季節のお料理や山梨産ワインビーフ、フジザクラホークなどのお肉を使ったメニューもおすすすめです。

お料理の写写真は例です。
ご希望がありましたらお問い合わせ下さい。
◇積み込み弁当も承っております。
◇追加料理ご相談下さい。

★1Fレストランではお一人様でも
お楽しみいただけます。
お手軽単品メニューも充実!
●自家製麺ほうとう……1,000円
●十穀麺ほうとう……1,200円
●おざら(夏季限定)……800円

◆山梨産ワインビーフと富士桜ホークのミニステーキと名物ほうとう
3,000円(税別)

◆名物ほうとうと山菜おこわ膳
1,500円(税別)

◆門前精進料理
2,500円(税別)

◆名物ほうとうと山菜おこわ膳
1,200円(税別)

◆名物ほうとうと山梨産富士桜ホークしゃぶしゃぶ膳
1,500円(税別)

◆名物おざらと山梨産富士桜ホークしゃぶしゃぶ膳
1,350円(税別)

◆名物おざらと2段せいり蒸し
1,200円(税別)

◆信玄祝膳
1,200円(税別)



甲州名物鳥もつ煮
2人前…800円

●メニューは税別料金です。
●季節により内容が変わることもございます。
●掲載のお料理写真は一例です。

甲斐福餅

甲斐福餅は上質な餡でやわらかなお餅をくるんだ
当館自家製のお菓子です

甲斐福餅
(化粧信玄袋入)
4個入箱×3

甲斐福餅
(化粧信玄袋入)
4個入箱×2

梅あん(季節限定)

栗あん(季節限定)

あずき

甲斐福ようかん
8個入(箱入)



甲州のお土産

山梨は果実や穀物がたわわに実る素晴らしいところです。
信玄館はその豊穡を特製お土産に
美味しく作り上げました。

夏期限定



おぎんら
甲州の夏の味



生 信玄館
おぎんら
(化粧信玄袋入) 2食入袋×2

生 信玄館:お館様のほうとう
(化粧信玄袋入) 2食入袋×2

手出し無用の お館様のほうとう

信玄館自家製のほうとうは、
水と野菜のみで美味しく作れます。



生 信玄館:お館様のほうとう
(化粧箱入) 2食入袋×3

信玄 十穀屋

雑穀をおいしく生活に取り入れてみませんか?
クッキーやケーキなどおいしいお菓子に香ばしい
十穀をたっぷり入れて焼き上げました。
また様々なお料理にご利用頂ける十穀粉や、その
ままご飯と炊き込む商品もご用意しています。



焙煎十穀
(焼き菓子) 詰合せ
素材の良さを引き出した口当たりも柔らかく
上品で美味しい御菓子です。
クッキー・マドレーヌ・スティックケーキ
各々単品での販売もしております



十穀ほうとう(味噌スープ付)
色々な自然がぎゅっ詰まった
健康に配慮した十穀種のほうとうです。



十穀ミックス(炊飯用250g)
色々な良きがある十種類の穀類をそのままパッキング!!
そのまま炊いても、白米に混ぜて炊いても美味しく食べられます。



パウンドケーキ
十穀の自然の味が
たっぷり



焼き菓子、パンケーキにしても美味しい!
甲斐の十穀すいとん(粉)

山梨県産
もも使用

山梨県産
巨峰使用

上品な甘さが人気!



もも
ゴーフレット
(化粧袋入) 1袋×10枚入



巨峰
ゴーフレット
(化粧袋入) 1袋×10枚入



青唐辛子入りの味噌に椎茸を漬け込みました



みそ椎茸(箱入り)

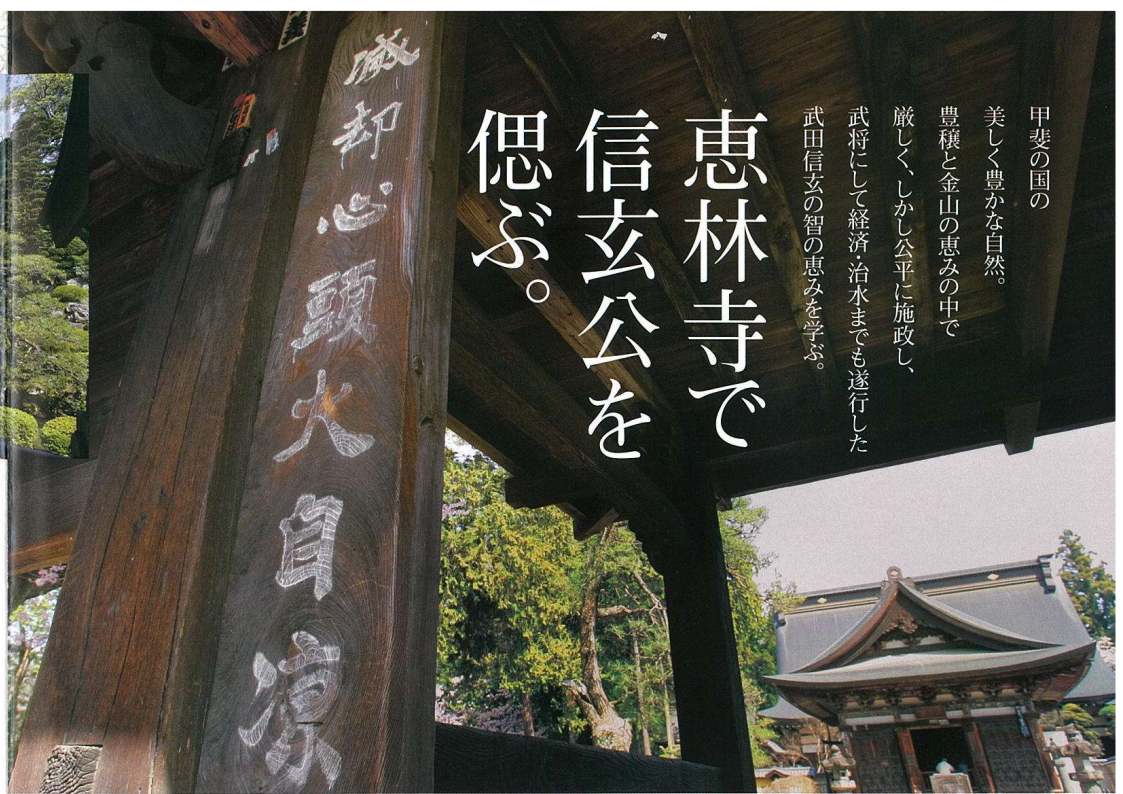
ご飯が止まらない
「みそ椎茸」
酒の肴にも



完熟ももの味
山梨県産100%ももジャム

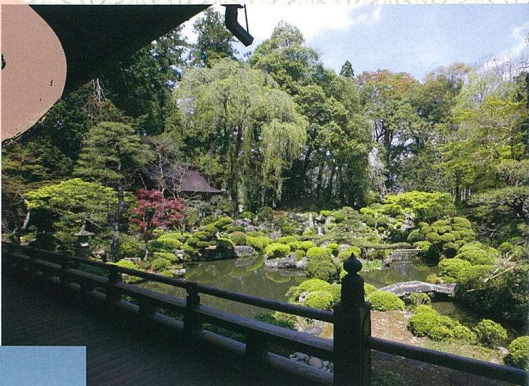
甲斐の国の
美しく豊かな自然。
豊稔と金山の恵みの中で
厳しく、しかし公平に施政し、
武將にして経済治水までも遂行した
武田信玄の智の恵みを学ぶ。

恵林寺で 信玄公を 偲ぶ。



国の名勝。夢窓国師築庭 恵林寺の庭園

本堂北側には国指定名勝の庭園「拜観は有料。池泉回遊式庭園で夢窓国師の代表作に数えられ、上段が枯山水、下段が心字池と梁山」という構成であり、禅の精神世界を美しく表現する。四季折々の風情が素晴らしい。
また寺内には県指定文化財の木造夢窓国師坐像や、信玄と相對し彫り上げ、さらに信玄の髪を流し込めたとされる武田不動尊坐像、庭奥には武田信玄公の墓、柳沢吉保の墓などがある。
宝物館には武田信玄所用の兜、軍配、扇、風林火山で有名な孫子の旗など多数の武田氏に関する文化財を所蔵している。



武田信玄公墓所 臨濟宗 妙心寺派

乾徳山 恵林寺

鎌倉時代・元徳2年、甲斐国の守護職が五山派の夢窓疎石(国師)を招き開山、関東準三刹の寺格を有していた。庇に乱れ荒廃したが、後に甲斐武田氏の菩提寺に定められて復興。武田晴信(信玄)が妙心寺派の高僧を多く招いて興隆期を迎え、さらに武田氏により寺領も寄進された。永禄7年には美濃から快川紹喜を招き、信玄は人として深く交流したとされている。
天正4年4月には、快川を大導師に信玄の葬儀が行われた。

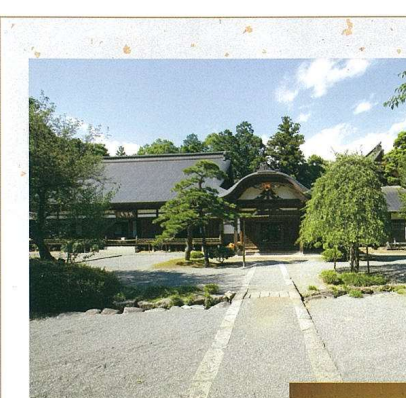
織田軍との敗戦で武田氏が滅亡した後、当寺に逃げ込んだ武田家臣の引渡しを拒否したため、織田軍によって焼討ちにあつた。この際、快川紹喜が燃え盛る門の上で「安神必ずしも山水を須いず、心頭を滅却すれば火も自ら涼し」と偈を發して大勢の僧を焼死したといわれ、徳川家康に於て再建された三門の両側に今もこの文が掲げられている。



信玄館から歩いても十分ほどの名刹 花の寺、放光寺へ散策。

信玄館からのんびり歩いても十分ほどの場所には、やはり武田信玄に手厚く庇護された真言宗の名刹、高橋山放光寺がある。山門内には文化財である勇壮な仁王像が並び立ち、宝物殿には、全国でも珍しい平安時代の天弓愛染明王像があり縁結びの仏像として、今も女性の参拝客が多く訪れる。寺は今から830年前、源平の合戦で活躍した安田義定公の開基で当時勧誘された大日如来ほかの三尊の仏像が重要文化財に指定されている。

信玄公の時代には、武田家の祈願所であつたが、武田氏滅亡の折、恵林寺と併せて織田勢の焼き討ちにより焼失した。現存の再興された建物は、禅宗の影響を受け整った伽藍配置である。また、江戸時代までは、甲斐國の修験道の中心道場として加持祈禱を盛んに行われた。境内には折々の花が咲き乱れ、「花の寺」とも呼ばれ、早春の櫛から、初夏のあじさい、初秋の萩の花まで見事だ。
4月29日は鎮守「開運大黒天」の会式として、火渡修行がおこなわれ盛大な祈禱風景が披露されるので、県内外から参拝客が訪れる。



敵であつた家康が甲斐の地と寺社を護り 今も山梨の人々の信望が厚いのは何故なのか。 学び続けた智將「武田信玄」

信玄公は少時代から寸暇を惜しんで多様な知識を学んだ。青年期には宗派を問わず名僧・高僧に私淑し、文学をはじめ、孫子の兵法などにも精通。さらに臨濟禅も極めて、これにより得た精神世界を軍略、外交、内政に活用した。公が戦国期において卓越した実略家であつたのみならず、治水、法規、度量衡、貨幣経済の施政といった優れた政治家であつたのも、ゆるぎない向学の志があればこそであつたといふ。

また若い頃、公は父信虎を駿河・今川に追放した。信虎の重税や残虐行為に苦しむ民衆家臣の叛意を、なんの実の父を排するといふ代償により未然に防いだのであつた。ゆえに上杉景虎をはじめ、諸國の武將から「親不孝者」と誹られつゝ、領内家族、民衆の圧倒的な支持を得て、軍馬増強、農業の安定、金山開発などにより着実に国力を強め、領内を正しく治めたのであつた。
53年の生涯、二度も敵を甲斐の國に入れ

させなかつた信玄公は人とは石垣・人城、情けは味方(仇は敵なり)と論じ、武力のみで圧する勝利より、たとえ戦利とすべし他國であつても領民領地の安寧をもてよしとす。
信玄公は病に倒れ、勝頼は織田軍に破れ、武田家は滅んだが、敵であつたはずの徳川家康は、この地を直轄領とし、織田軍に焼かれた殆どの寺社を手厚く復興させた。また多くの旧家臣を幕府に招き、礎として、度量衡や経済法度の流用など「信玄公の遺産」を正しく重用している。
余談になるが、徳川家光の異母弟であり、幕府の基礎を固めたと近年名君の評価が高まっている「保科正之」の命を救い、幼少期の教育を施し、武田家臣であつた高遠家に送り出したのは、信玄公の実の娘、見性院であつた。



信玄公